

「一木一草を尊ぶ」

わたしの一言動力

小川治兵衛の名を継ぎながら庭園と向き合い250余年。

植治の次期十二代・小川勝章さんは

「お庭には生まれたての草もあれば、何百歳という木もあります。

石は何十万歳、地面は何十億歳かもしれません。

一木一草すべての生命から、日々学ばせていただいています」と

ひとつの庭に集い出会った自然への敬意を忘れません。

「草一本、葉一枚に意義があり、家主様の思い出がある場合もあります。

雑な草などありませんから、常識にとらわれない作庭を心がけないと」。

謙虚に向き合う志が、庭の景色にもにじんできているようです。

「ON YOUR SIDE ～一緒にうれしい～」京都中央信用金庫は地域の歴史や文化をささえる活動を応援します。